



第 34 号

発行
山田学区
社会福祉協議会

平成十年度 評議員会(総会)開催!

平成十年度山田学区社会福祉協議会総会(評議員会)が四月十八日(土)十九時三十分から山田公民館で開催され理事・評議員六十名の内、五十余名の出席者と本部事務局

七名が出席、議長に評議員の山本成一氏を選出、平成九年度の事業報告および会計決算報告並びに会計監査報告の議案を一括提案、両議案を慎重に審議し満場一致で承認されました。

続いて、平成十年度事業計画案と会計予算案の二つの議案が一括提案されました。

議長審議に先立ち会長より、平成十年度事業計画案に対する山田学区社協の基本方針が説明され、急速に進展する少子・高齢化社会に対応し高年齢者や子供達・障害者等すべての住民が地域で安心

して暮らせる社会づくりを目指し、小地域福祉ネットワーク活動の推進が大きな課題であり、本年度は特にこの課題に対し強力に取り組む姿勢が打ち出されました。

それには平成九年度から新しく組織された福祉協力委員会の活動の成果に、大きな期待が寄せております。

福祉協力委員会とは、各町から一名づつ選任された福祉協力委員の方達の組織で、小地域福祉ネットワーク活動の担い手として各町における福祉のニーズの把握や情報のキャッチ、あるいは見守り活動等町内単位で住民福祉の向上を目指し活動して頂く方々です。

現在は各町一名と成っておりますが、今後各町の戸数により百戸当たり一名を目標に逐次増員をお願いし、選任して頂く予定であります。

また、町会長や民生委員と連携し学区社協の年間事業の推進にも積極的に参画して頂き、町内会等の役員としても重要な立場に位置づけられ、今後の活躍に町民からも厚い期待が掛けられております。小地域ネットワーク活動の推進が学区社協の事業の大き

な柱として今後ますます重要な地位を占めるものと思われ

ます。引き続き、議案の審議に移り熱心な討議と活発な質疑応答が展開され二つの議案も賛成多数により可決され、平成十年度山田学区社協の事業計画案および会計予算案が、原案通り総会において可決成立しました。

理事・評議員各位のご協力を厚く感謝申し上げます。

行政福祉を学ぶ 福祉懇談会開く

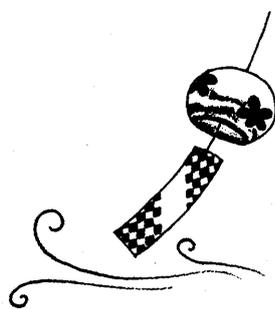
六月十四日(日)生憎の雨の中、午前十時三十分から南山田会館において、同町老人クラブの会員百四名の方々を対象に福祉懇談会を開催、市健康福祉部から木村課長を講師に迎え行政の福祉制度や福祉サービス、平成十二年から施行される介護保険法等の福祉問題について講義を受け学習懇談した。

講義終了後参加者を交え福祉行政全般について、質疑応答の時間を設定し寝たきり老

人や障害者の福祉についての質問が多く出され、行政の福祉全般について学習し少しは理解できたのではないかと思います。その後、昼食会に移り参加者全員が和やかに歓談、親睦の輪を広げ午後一時半過ぎ散会した。

少子・高齢社会を迎え福祉の問題が大きな課題になっており、高齢者自身も行政等の福祉制度を学習し理解すると共に、自らも健康等に十分留意し自立するよう心掛けなければならぬ時代に成って来たのかと思えます。

この様な学習の機会を通じ身近な問題として行政や地域の福祉について懇談し、住民相互の話し合いや考える場として、小地域福祉のネットワーク活動につなげたいと思えます。



*
本年度
高齢者ふれあい
サロンについて!!
 *

山田学区社会福祉協議会では、学区内の在宅一人暮らし老人や高齢者世帯を対象にボランティアとの日常的なふれあいを通じて、孤立感の解消・心身機能の維持向上、お年寄り同士や地域の人々とのふれあいの輪を広げて行くことを目的に、「高齢者ふれあいサロン」を開催しております。本年度も市の福祉センターロクハ荘において四回開催する予定であります。

なお、前年度までは参加対象者として昼間一人老人の方にも参加して頂いて居りましたが、年々対象者が増加、平成二年度にこの事業が発足した当時、山田学区では参加者が少なく人集めが大変で参加対象者の枠を広げ「昼間一人老人」の方々にも参加を呼びかけた経緯があり、学区社協としても平成八年度から対象者の見直しについて協議を重ねて参りました。

今年度は学区内の在宅一人暮らし老人の方が八十余名、高齢者世帯が八十数世帯に増加し、この二つの対象者だけでも、合計二百五十名を越える人数となり参加者四〇%としても百名以上の参加規模になり、事業実施に支障を来す恐れが生じて参りました。

参加される皆さんに充分ご満足頂けない事態も予想され「昼間一人老人」の皆さんには誠に申し訳ございませんが、本年度から対象者から除外させて頂くことに成りました。

また、本年度からこれを機会に対象者の参加募集と取り纏めに、各町の福祉協力員の皆さんにご協力頂くようになり、民生委員の方にもご支援をお願いしております。

なお、本年度の開催予定は次の通りです、対象者の方々は遠慮なくどしどしご参加下さい。(八月七日開催分は、募集を締め切りました。)



第一回 対象者学区内全域
 八月七日(金)一〇:〇〇~一四:三〇

場所 ロクハ荘

「高齢者の健康管理」

健康ビデオ・血圧測定

昼食 手作り料理

舞踊・カラオケ・入浴等

☆お手伝いは、

健康推進員、V'たんぽぽ

第二回 対象者学区北部地域
 十月九日(金)一〇:〇〇~一四:三〇

場所 ロクハ荘

「ゲームで楽しく」

ビデオとお話

昼食 手作り料理

舞踊・カラオケ・入浴等

☆お手伝いは、

日赤奉仕団、V'みのり会

第三回 対象者学区東部地域
 十二月十一日(金)一〇:〇〇~一四:三〇

場所 ロクハ荘

「高齢者の交通安全」

交通ビデオとお話

昼食 手作り料理

舞踊・カラオケ・入浴等

☆お手伝いは、

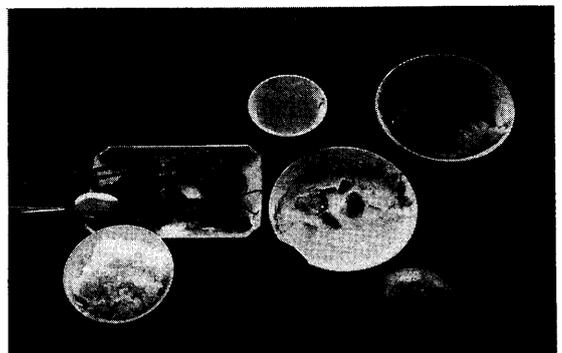
学区婦人会の皆さん

第四回 対象者学区南部地域
 二月五日(金)一〇:〇〇~一四:三〇

場所 ロクハ荘

「今日も元気で健康に」

講座・ビデオ・血圧測定



写真は
 昨年度のものです。

昼食 手作り料理
 カラオケ・入浴など
 ☆お手伝いは、
 V'ともしびの皆さん。

◎参加料は
 お一人二〇〇円です。

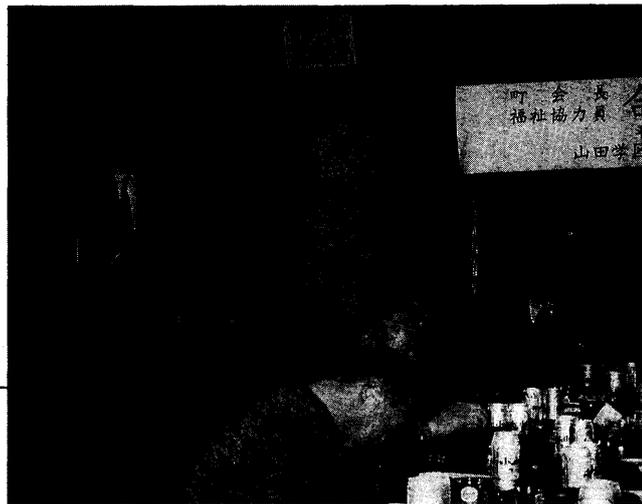
◇ 四回とも市の福祉バスを
 チャーターして送り迎えをさ
 せて頂きます。



小地域ネットワーク活動と 福祉協力員について!!

平成十年度、山田学区社会福祉協議会の小地域福祉ネットワーク事業として、小地域（各町内）において高齢者を対象に「ほのぼのサークル支援事業」とか「ミニふれあいサロン」等の交流やふれあいを目的とした事業が計画されております。

この事業は、高齢者の皆さんの孤独感の解消や心身の健康を維持するための予防的な



活動、自立心の涵養と社会参加の機会を作り交流の場として各町の会館等を利用、参加者とボランティアが企画・運営して楽しい仲間作りと、いき場作りが目的です。

学区社協がこれをバックアップし連携して事業を推進することになっております。

このような事業を通して小地域福祉ネットワーク活動を推進、各町に福祉の網の目を広げお互に繋げてゆく活動の担い手として、山田学区十五町の各町内に於いて、大いに活躍が期待されるのが次にご紹介する十五名の各町福祉協力員の皆さんです。

- 北山田町、(敬称略)
- 宇野 一
- 五条町、
- 清水 勉



- 山田町、 杉江 義弘
- 南山田町、 岸本 利量
- 岡 町、 磯野 徳馬
- 不動浜町、 岡 顕朗
- 新南浜町、 蔵田 敏明
- 南山田団地、 坂根多美彦
- 木川 町、 柴田 常雄
- 出屋敷町、 久保 繁治
- 新田 町、 山内 久代
- 陽の丘団地、 景山ヒロ子
- 三ツ池町、 在田三千雄
- 出屋敷団地、 本多 利光
- 御倉 町、 田中つね子

以上の方々です。各町皆様のご協力を、よろしく申し上げます。

「ほのぼのサークル」活動とは!!

平成九年度後半から新しい事業として、小地域福祉ネットワーク活動の一環として、「ほのぼのサークル」支援事業が、新しく学区社協の事業として加えられました。

町内単位での小地域福祉活動として、家に籠りがちな高齢者の皆さんに社会参加と自立の機会を作り、小人数で楽しく話合いや趣味・ゲーム・料理(軽食)づくりなど、皆さんで楽しく集える「いき場(生き・行き)づくり」を推進し、学区社協がこれをバックアップし活動につなげて行く事業として位置付けられています。



同時に、この事業に於いては、学区シルバークラブ等のご協力を頂き各町内の情報等の提供を受け学区全体に「ほのぼのサークル」活動や「ミニサロン」を広げたいと考えております。

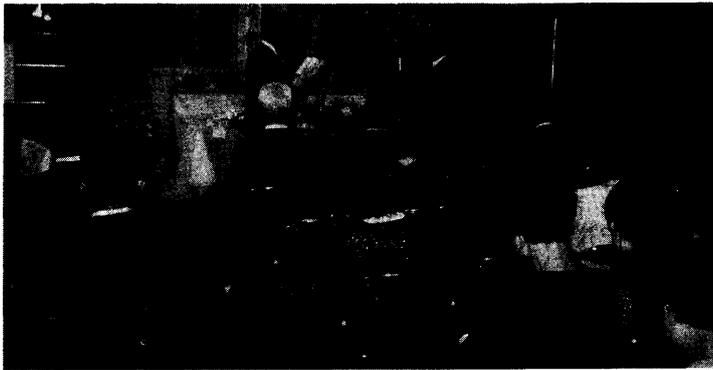
地域の特徴に合わせ農繁期等も考慮し、各町の実情を見ながら定期的な活動につなげるよう役員一同、地域住民皆様のご協力をお願いしたいと思います。

会合の開催予定が決まりましたら、ご遠慮なく社協までご連絡下さい。

少しですが助成もします。

平成10年度 戦没者追悼式典を執行!

六月二十一日(日)梅雨空に煙る雨の中、山田公民館において平成10年度山田学区戦没者追悼式典が午後二時から一七五柱の御霊の御前でご遺族を始め多数のご来賓の方々や一般参列者をお迎えし厳粛に執り行われました。



第二次世界大戦を含め戦争の犠牲により国の内外で亡くなられた方々は、日本人だけでも三百拾万余名に達し軍人を始め多くの一般国民の尊い生命や財産が戦争のために失われました。

終戦後、早くも五十三年の歳月が流れ戦争を知らない世代が多く成り、悲惨な戦争の悲劇が歴史の中に埋没されつつあります。

世界の流れは冷戦の終結とは言え地球上では今も各地でイデオロギーや宗教等の相違による地域紛争やテロ行為が発生し、多くの市民が犠牲になつております。

一方、インドやパキスタンが世界の人々の非難をよそに核実験を強行し核保有国の仲間入りを目指しています。私達は、二度とこのような悲劇を繰り返さないよう平和を守り戦争の悲惨さを子供達に語り継ぎ、風化しないよう伝えると共に平和の尊さを身をもって守り、争いのない豊かな社会を作るため努力しなければならぬと思ひます。

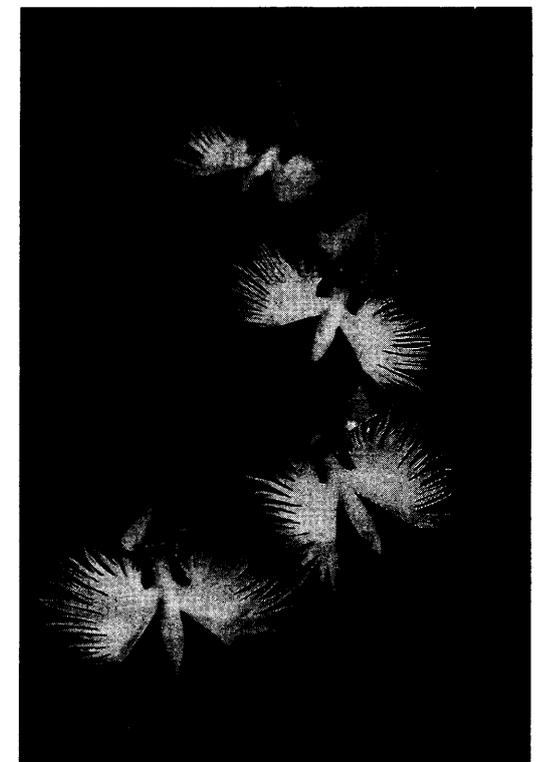
ここに戦没者の御霊に対し慶弔の誠を捧げ永遠の平和を祈念し、併せてご遺族を始めご参列頂きました皆様のご健勝をお祈りします。

式典執行の準備等のため、ご協力頂きました役員を始め関係各位に厚くお礼申し上げます。

平成10年度 役員紹介

去る、四月十八日(土)山田公民館に於いて、平成10年度山田学区社会福祉協議会の総会が開催され、本年度社協役員体制について10年度各種団体役員等の改選により、役員に異動があり補欠として残任期間を務めて頂く役員名簿が評議員会に報告され了承されました。

- 本年度学区社協の役員事務局員は次の通りです。
- 会長 井上 昌之(自治連)
 - 副会長 浜口 浅和(自治連)
 - 三戸 清利(民児協)
 - 馬場 恭子(婦人会)
 - 清水 清信(老人会)
 - 木村 弘治(会 員)



事務局長 角 吉雄(会 員)
監 事 馬場 常雄(会 員)
宇野 喜好()

以上、役員事務局員一同は本年度も皆様と共に小地域福祉ネットワーク活動の推進に努力し取り組む所存で居ります。暖かいご支援とご指導を心からお願ひ申し上げます。

編集後記

今年の梅雨は地球温暖化の影響か、例年に比べ変則的で何だかおかしいようです。

五月の中旬には近畿地方も梅雨に入り、六月には真夏日が続く下旬には四国地方まで

梅雨が上り、近畿以東は七月下旬まで例年以上の長い梅雨となり、ようやく夏本番の季節と成りました。

華麗な白鷺が舞うように、鷺草が夜の帳りの中に可憐な白鷺四羽を鮮やかに舞い上がらせています。

そんな季節に、社協だより第三十四号をお届けします。本年度は、特に小地域ネットワーク活動について、ご案内をしております。

皆様と共に新しい世紀に向かって、地域住民の福祉の向上に微力ながら努めたいと思ひます。

(鷺草の写真は、市社協の竹中常務理事の提供です。)